隔日刊
食品新聞
発行所　食品新聞社
http://www.shokuhin.net/
大阪市北区南森町2－3－30
郵便番号　530－0054
電話　06（6361）4972㈹
東京都中央区入船1－9－8
郵便番号　104－0042
電話　03（3552）3756･4031
名古屋市中区丸の内2－10－11
リプラ丸の内6　305号
郵便番号　460－0002
電話　052（221）5391㈹
（支局）広島・福岡
© 食品新聞社 2018
THE JAPAN FOOD NEWS
購読料　半年33,346円

日本アクセス

中国に商品開発会社

外食大手・国際天食と合弁

日本アクセスは中国外食大手の国際天食集団（香港）と合弁で中国業務用市場向けの商品研究開発会社を立ち上げる。現地のニーズに合った業務用冷凍食品やデザートを新会社で企画、日系メーカーの中国工場や現地メーカーに製造を委託し、完成品を国際天食傘下の外食店舗などに供給する。

26日に日本アクセス東京本社で行われたアクセス業務用市場開発研究会（日本アクセスの主要取引メーカー166社が加盟するチームMD組織。以下AG研）の総会で佐々木淳一社長が構想を語った。

現在、国際天食と話めの交渉を進めている段階で、合弁会社の設立時期、出資比率、資本金などは不明。5月25日に都内で開催するメーカー向け経営方針説明会で詳細を明らかにする。

日本アクセスは昨年7月に国際天食ならびに同グループの中国業務用食材卸・上海衆敏供応鏈管理（上海）と業務提携に向けた協議を開始。当初から具体的な検討テーマとして日本からの食品輸出や現地向け業務用食品の共同開発が挙がっており、その動向が注目されていた。

新会社の設立に際しては、中国に工場を持つ複数のAG研加盟メーカーとともに〝中国版AG研〟を組成し、商品開発・製造・供給の枠組みを速やかに整える。現地製造に加え、日本からの輸出も検討する。

当面の供給先は国際天食が上海などで展開する400店超の飲食店とみられるが、伊藤忠商事が出資する中国最大の国有コングロマリット・CITICがマクドナルドの中国事業を保有していることなどから、大規模な食材供給事業に発展する可能性がある。

全国規模の物流会社新設

国内食品メーカー5社協働

食品物流の課題解決目指す

味の素、カゴメ、日清オイリオグループ、日清フーズ、ハウス食品グループ本社は26日、来年4月をめどに各社の物流事業を統合し、全国規模の物流新会社を発足させると発表した。人手不足などを背景に深刻化する食品物流の課題解決に向け、5社が協働して取り組む。

今回のスキームは味の素物流、カゴメ物流サービス、ハウス物流サービスと、味の素、カゴメ、日清フーズ、ハウス食品グループ本社が出資するF―LINE、F―LINEが出資する九州F―LINEの物流機能を再編・統合するもので、味の素物流を存続会社に統合した後、商号を「F―LINE」に変更する。

新会社には味の素（出資比率45％）、カゴメ（22％）、日清オイリオグループ（3％）、日清フーズ（4％）、ハウス食品グループ本社（26％）が出資し、社長には現F―LINEの深山隆社長が就任する予定。発足時の従業員数は約2千550人、資本金は24億8千万円を予定。

今回の動きは、物流業界の労働力不足や物流従事者の労働環境改善といった課題解決に加え、国土交通省の総合物流施策大綱（2017～2020年度）で物流の生産性向上に向け「連携・協働による物流の効率化」がうたわれたことなどを背景とするもので、食品物流における全国規模の生産性向上を目指すもの。

新会社に出資する5社とMizkanは15年2月、効率的で安定的な物流体制の実現を目的に食品企業物流プラットフォーム「F―LINE®」の構築に合意。6社による協議体「F―LINEプロジェクト」で協議を重ね、関東・関西間の中距離幹線輸送再構築、北海道エリアの共同配送などの取り組みを進めてきた。

その後、味の素、カゴメ、日清フーズ、ハウス食品グループ本社は、F―LINEプロジェクトが策定する物流戦略の実現と北海道、九州エリアの共同配送体制などの構築に向け、17年3月に既存の「F―LINE」、4月に「九州F―LINE」を発足させ、物流諸課題への対応を推進しているが、5社とMizkanは引き続きF―LINEプロジェクトで連携し、トラックドライバーや物流センターなどの資産の共有、共同配送による配送件数の削減、幹線輸送の再構築などの課題解決に向け既存の枠組みを超えた協働体制の下、「食品企業物流プラットフォーム」を確立し、持続可能な食品物流体制のさらなる強化を目指す。

20年度売上高5千億円

キッコーマン　新中期経営計画を策定

キッコーマンは2018～2020年度を対象年度とする新中期経営計画を策定した。グループ全体の重点課題として「収益力強化と成長継続」を掲げ、高付加価値化の推進、生産性の向上、新たな柱の構築に取り組む。20年度（21年3月期）に売上高5千億円（18年3月期4千306億円）、営業利益450億円（同365億円）、ROE10％以上（同9・8％）を目指す。

海外事業の21年3月期目標は売上高3千10億円、営業利益315億円、営業利益率10・5％。売上高で年平均7・3％、営業利益で同8・2％の成長を目指す。

事業別の売上高成長目標は海外しょうゆが年平均6％、東洋食品卸が同8％。「しょうゆ事業、卸事業ともに、高い成長を継続させていく」（堀切功章社長CEO）考えだ。

国内の21年3月期目標は売上高2千15億円、営業利益160億円、営業利益率8・0％。売上高で年平均3・6％、営業利益で同10・5％の成長を目指す。「いつでも新鮮」シリーズを中心に、さらなる高付加価値化を進め、豆乳で市場においてさらに強固なポジションを確立するなど、各部門で成長と収益力強化を目指す」（同）としている。

平成29年度CS販売概況

既存店前年割れに

相場安、天候不順響く

日本チェーンストア協会は24日、平成29年度チェーンストア販売概況（29年4月～30年3月）を発表した。それによると29年度の総販売額（56社1万45店）は前年比99・7％（12兆9千343億5千2百万円）。既存店売上高も99・7％となり、2年連続の前年割れとなった。

食品販売額は100％（8兆4千830億4千506万円）、既存店売上高100・1％。うちその他食品（加工食品）は総販売額100％（4兆4千956億7千222万円）、既存店売上高100・1％。惣菜が総販売額101％（1兆171億659万円）、既存店売上高100・3％。

食品は第1四半期こそ好調に推移したが、第2四半期に入り農産品が苦戦したことに加え、食中毒問題で惣菜も苦戦。第3四半期は相場安の影響で農産が苦戦したことに加え、天候不順も響いた。最終四半期は農産品の相場高などもあり総販売額101・1％、既存店売上高101・2％と好調に推移、通期前年並みとした形だ。

逆光線

IT技術やテクノロジーの進化により、宣伝領域でも新技術がどんどん生まれている。自社の商品・サービスを認知してもらうために、新技術を用いた宣伝手法を極的に取り入れているメーカーがある▼先日はドイツ発の新たな解説動画を知った。どんな複雑なトピックも誰もが理解できるシンプルな動画であっという間に解説する。全体がモノクロ色で構成されており、ナレーションをバックに紙芝居のような形式で進む▼場面展開に人の手を使用して流れのリズムがつくられている。この手法は脳科学、認知心理学をベースに研究を重ねてきたもので、「人間は本能的に指で示された場所に思わず注目してしまう」という原理を利用している▼重要なイラストや場面転換は人の手を使って注目を高め、メッセージに脳を集中させるべく視覚情報は少なくして、白黒の色で構成することにより視聴者に理解と共感を促す。解説動画は自社のホームページやユーチューブ、イベント会場などで放映する。いわばアナログとデジタルの融合で、アナログのおじさん記者でも共感できる。

多数の業界人に栄誉

平成30年春の叙勲が発表され、多数の業界関係者が栄誉に輝いた。本紙関係の受章者は次の通り（敬称略／順不同）。

春の叙勲

農林水産省関係

旭日中綬章＝木村良（全国米穀販売事業共済協同組合理事長）▽旭日小綬章＝伊勢彦信（イセ食品会長）、植田孝（大阪青果元社長）、遠藤喜志雄（全国魚卸売市場連合会元会長）、瓦葺利夫（松屋フーズ会長）、森口一（全国珍味商工業協同組合連合会元理事長）▽味の浜藤元社長、八木俶夫（全国麦茶工業協同組合元理事長）ヤキショ小綬章＝伊勢彦信（イセ食品会長）、植田孝（大阪青果元社長）、遠藤喜志雄（全国魚卸売市場連合会元会長）、瓦葺利夫（松屋フーズ会長）、森口一（全国珍味商工業協同組合連合会元理事長）▽味の浜藤元社長、八木俶夫（全国麦茶工業協同組合元理事長）ヤキショ小綬章＝伊勢彦信（イセ食品会長）、植田孝（大阪青果元社長）、遠藤喜志雄（全国魚卸売市場連合会元会長）、瓦葺利夫（松屋フーズ会長）、森口一（全国珍味商工業協同組合連合会元理事長）▽味の浜藤元社長、八木俶夫（大阪府茶業協同組合元理事長）宇治森徳会長、杉浦伸治（全国加工海苔協同組合連合会理事長）、堤公一（熊本県菓子工業組合理事長）、細内進（協同組合全日本洋菓子工業会副理事長）宮崎達雄（長崎県醤油味噌協同組合理事長）▽瑞宝重光章＝上野博史（元農林水産事務次官）

木村氏

伊勢氏

重田氏

瓦葺氏

旭中　木村良氏（全米販理事長）

旭小　伊勢彦信氏（イセ食品会長）、瓦葺利夫氏（松屋フーズ会長）ら

多年の功労を称える

政府は平成30年春の褒章受章者を発表した。本紙関係の受章者は次の通り（敬称略／順不同）。

春の褒章

農林水産省関係

黄綬褒章＝大杉守（大杉水産代表取締役）、多喜精一郎（徳島青果元社長）、財部安則（財部水産代表取締役）▽藍綬褒章＝竹田良男（全国青果物商業協同組合連合会会副会長）、末松祐而（日本給食サービス協会元副会長）

厚生労働省関係

黄綬褒章＝海老原慧（HT料理顧問）、岡部悟（ホテルクラウンパレス浜松鳳凰料理長）、高橋良明（銀座1864料理長）、中川清昭（日本の宿古窯調理部長）、渡邊要（神田明神下みやび本店元料理長）

経済産業省関係

旭日小綬章＝寺西忠幸（日本チェーンドラッグストア協会元会長）▽旭日双光章＝酒本直昭（酒直会長）▽旭日単光章＝原田俊一（原田本店会長）、通円亮太郎（通園元代表取締役）

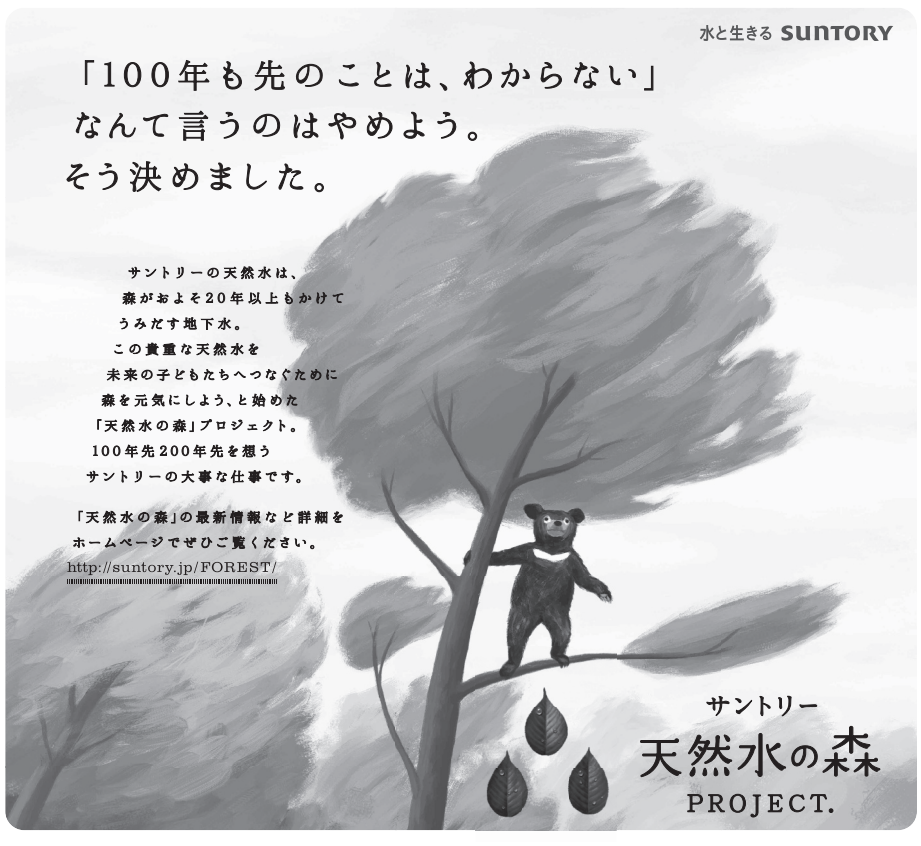
財務省関係

旭日小綬章＝藤居鐵也（滋賀県酒造組合会長）、八巻睦（山梨県小売酒販組合連合会会長）▽旭日双光章＝岩井忠正（兵庫県小売酒販組合連合会元会長）

厚生労働省関係

旭日双光章＝市川昌平（新潟県食品衛生協会副会長）、稲葉博（群馬県食品衛生協会元副会長）、奥村仁（全日本司厨士協会三重県本部元会長）、小西謙造（全日本司厨士協会北陸地方本部富山県本部元会長）、竹中憲治（高知県食品衛生協会副会長）、田代誠一（栃木県中華料理生活衛生同業組合元理事長）、中村春男（全日本司厨士協会中国地方本部広島県本部会長）、丹羽榮守（岐阜県食品衛生協会副会長）、林永芳（愛知県中華料理生活衛生同業組合理事長）、山本次夫（秋田県食品衛生協会元副会長）、吉澤紀一（長崎県食品衛生協会元副会長）▽旭日単光章＝岸田伊佐男（兵庫県食肉衛生同業組合副理事長）、佐藤公二男（北海道全調理師会副理事長）、柴野清（香川県飲食業生活衛生同業組合元副理事長）、丸山文雄（東京都飲食業生活衛生同業組合副理事長）

純粋ハチミツ
サクラ印
ハチミツ
株式会社 加藤美蜂園本舗
本社03－3875－1182

きょうの業界天気図
ワイン
うすぐもり
中長期的には成長が見込めるが、景気不透明で足踏みが続く。
きょうの主な内容
6～7 ワイン特集
8 外食WEST

トリイ
無添加パン粉
「お陰様で好評です！」
国内麦100％
添加物不使用
170g
15入×2
株式会社 トリイパン粉
愛知県豊川市一宮町上新切438番地
電話 0533-93-3381㈹